



# 第 1272 回例会報告

平成24年6月7日(木) 晴

## 会長挨拶

会長 三村昌暉

### 平福寺早朝例会

本日は、朝の6時点鐘という早朝例会にもかかわらず多数の会員のご出席をいただき、誠に有り難う御座います。また、毎年会場を提供していただいている、平福寺さんと小林聖仁会員、ご家族の皆様、クラブを代表して厚く御礼申し上げます。小林崇仁ご住職から、弘法大師についての法話を拝聴した後、朝粥をいただきます。準備等で平福寺さんにはご迷惑かと存じますが、宜しくお願い致します。

## ◇幹事報告◇

### 【報告事項】

諏訪湖RCは財政破綻寸前です！年会費の未納の会員は至急ご清算をお願い致します。

### 【連絡事項】

萩田均、小口直久両氏の入会に対する異議の申し立てはありませんでした。新しい仲間が増え誠に喜ばしい限りです。

### 【受領文書】

ウィークリー 諏訪RC 岡谷エコーRC

## 第35回ローターアクト地区年次大会

新世代奉仕委員会 高林一紀

5月27日(日)第35回ローターアクト地区年次大会が飯田市のシルクホテルを会場に飯田ローターアクトクラブホストのもと開催されました。

大会テーマは「愛～心が動く瞬間(時)～」を掲げ一年間活動してきた2600地区ローターアクターが一同に会

し一年間の集大成として開催されました

約150人が出席し地区ローターアクトの宮川代表の挨拶に始まり提唱クラブ飯田ロータークラブ会長、飯田ローターアクト会長の歓迎の言葉、都筑ガバナリーの祝辞等が有りました。その中で宮川代表の「2600地区のローターアクトの会員数が年々減少傾向に有るが会員減少に苦しみながらも前向きに積極的に活動を進めたい」の心強い挨拶が耳に残りました。

続いて地区事業報告、各ロータークラブの事業報告が有り一年間仕事と奉仕活動を両立させ貴重な時間をやり繰りしながらも自己研鑽に努められたアクターの皆さんに若者らしいポテンシャルの高さを感じました。

大変素晴らしく意義ある年次大会でしたが来期以降の大会については印刷物を含めもっと簡素化された無駄のないスリムな大会運営を期待します。



<p>■ニコニコBOX</p> <p>19名 23,000円          累計 1,142,000円          目標額 130万円          達成率 87.9%</p> <p>■今週のことば</p>	<p>■出席報告</p> <p>会員数 33名          出席対象 33名          出席者数 22名          出席率 66.7%          前回修正 75.7%</p> <p>■次回のプログラム</p> <p>6月21日          ローター世界大会報告          国際奉仕委員会</p>
--	---



第 1272 回例会 平福寺早朝例会

小林崇仁ご住職卓話「弘法大師の教え」

クラブ奉仕委員会

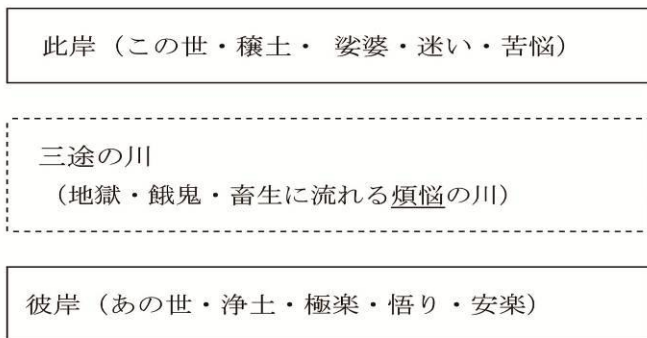
本年度は、大変要約した弘法大師の教えのお話をお聞きしました。要約しているにもかかわらず、弘法大師の教え(仏法の教え)は、大変わかりやすく得心のいくものでした。

ご住職は、「お呼びいただければ本日のお話の続きをしたい」おっしゃっておいりました。ぜひ、仏教と人間の生き方(哲学)に興味のある有志で集まり、勉強会をしたいものです。



弘法大師の教え

1、彼岸と此岸を隔てるもの



三途の川を越えるには、  
 ①本尊の加護  
 ②本人の修行  
 ③遺族の廻向  
 三つの力によるとされます。

②本人の修行とは、六波羅蜜 (=<sup>ろっばらみつ</sup>煩惱の川を渡る6つのイカダに喩えられます)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1、布施 (惜しみなく与える) | 4、精進 (努力をする)    |
| 2、持戒 (きまりを守る)   | 5、禅定 (心を落ち着ける、) |
| 3、忍辱 (がまんをする)   | 6、智慧 (自分を知る)    |

2、彼岸は心中にあり ー即身成仏ー

【本文】『般若心経秘鍵』より

それ仏法はるかにあらず、心中にしてすなわち近し。  
 真如外にあらず、身を棄てていづくんか求めん。

【要約】

彼岸は、遙か彼方にあるのではなく、実は私たちの心の中にあるのです。  
 心おだやかで慈愛に満ちた悟りの境地は、この身を離れて、どこに求めるべきでしょう

【解説】

だれにでも、“仏心”は備わっている。しかし、自己中心的な考え方や飽くなき煩惱により、その輝きが陰ってしまっている。  
 神仏に手を合わせ、「六波羅蜜」を実践していくことで、“仏心”が輝きを増し、おのずと心おだやかで慈愛に満ちた悟りの境地に至ると説かれています。